

4	更なるサービス向上のために、どういった課題や改善策があるか。	<p>会館、作業室では今後も利用者から意見・要望等を聴取し、サービス向上に取り組むこと。職員には、個別・多様化していく障害に対応するための専門知識、対応、スキルが求められるため、引続き必要な研修を必要な職員が受講できるよう職員体制等を勘案したうえで、計画的に学びの機会を確保し、職員の資質向上の促進を図る必要がある。</p> <p>ふじみ園では、利用者への呼称や利用者が暴れた際に動きを制限し利用者が擦り傷をした事例を課題として深く認識し、「虐待防止マニュアル」や「苦情解決・相談実施要領（改訂版）」を策定、外部講師を招いた虐待防止研修を実施する等、虐待防止のための体制づくりを強化した。</p>
5	非公募更新のための条件を満たしているか（該当施設のみ）	

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																			
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	<p>指定管理者から年度ごと及び四半期ごとに提出される事業報告書等によるモニタリングのほか、適宜、管理運営状況の実施状況調査（現地ヒアリング含む）を行った。</p> <p>また、市内4か所の身体障害者福祉会館の館長会議を障害福祉課担当者が同席のもと隔月で会議を開催し、各施設の状況を障害福祉課、各施設で共有することによりサービスの公平性を確保した。</p> <p>その他、管理運営上の問題発生時の指導、施設の適正な管理運営に必要な調整・協議・指導などを実施するなど、適切なマネジメントを行った。</p>																																			
2	制度活用による効果はあったか。	<p>（サービスの向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館利用者数においては、一時的に利用していた福祉団体の利用がなくなったためH29は減少しているものの、障害者団体、ボランティア団体及びふじみ園、作業室による利用で指定管理期間全体では利用人数が増加傾向にある。 ・会館の利用率向上に向け、利用者から意見を聴取するなどして、より利用しやすい環境づくりを行うことが望ましい。 <p>会館利用者数</p> <table border="1" data-bbox="520 1128 1374 1227"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会館利用者数 (延人数)</td> <td>7,886名</td> <td>6,489名</td> <td>8,041名</td> <td>8,536名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前期 平均利用者人数 8,571名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業室においては、利用者の転居や障害の重度化、高齢化による入所施設への移行などにより、利用人数が減少傾向にあるものの、見学や実習の受け入れを積極的に行い、関係機関とも密に連携することで、新規利用者を積極的に受け入れている。 ・また、利用者の障害重度化・高齢化、家族の高齢化による介護疲れなどのニーズを汲み取り、職員の勤務ローテーションを工夫して休日外出を実施している。利用者・家族からも好評を得ており、制度活用によりサービスは向上したと言える。 <p>作業室（生活介護）在籍者数</p> <table border="1" data-bbox="520 1552 1374 1650"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (定員20名)</td> <td>24名</td> <td>21名</td> <td>20名</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ園では、利用者の高齢化・重度化に伴う支援の在り方について、現状の課題を整理し、年齢や障害支援区分及び作業能力に即した利用者のグループ編成を検討しながら、個別支援の在り方に沿って介助方法を工夫するなどし、プログラムを推進している。また、地域の美化活動や自立支援協議会やイベントに積極的に参加するなど、地域ニーズの対応にも努めており、一定のサービスの向上があったと言える。 <p>ふじみ園（生活介護・就労継続支援B型）在籍者数</p> <table border="1" data-bbox="520 1917 1374 2078"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活介護 (定員50名)</td> <td>52名</td> <td>53名</td> <td>53名</td> <td>53名</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援 (定員10名)</td> <td>9名</td> <td>10名</td> <td>10名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	R01	会館利用者数 (延人数)	7,886名	6,489名	8,041名	8,536名		H28	H29	H30	R01	利用者数 (定員20名)	24名	21名	20名	18名		H28	H29	H30	R01	生活介護 (定員50名)	52名	53名	53名	53名	就労継続支援 (定員10名)	9名	10名	10名	10名
	H28	H29	H30	R01																																	
会館利用者数 (延人数)	7,886名	6,489名	8,041名	8,536名																																	
	H28	H29	H30	R01																																	
利用者数 (定員20名)	24名	21名	20名	18名																																	
	H28	H29	H30	R01																																	
生活介護 (定員50名)	52名	53名	53名	53名																																	
就労継続支援 (定員10名)	9名	10名	10名	10名																																	

		<p>(経費の節減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を導入する平成17年度以前から、業務を民間へ委託しているため、直営経費との節減効果比較はできない。 ・第3期指定管理委託料は第2期と比較して消費増税により0.6%増額している。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期指定管理委託料(平成22年度) 30,691,000円 ・第2期指定期間委託料(平成27年度) 31,418,700円(2%増) ・第3期指定期間委託料(令和2年度) 31,615,000円(0.6%増)
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	・開館から36年が経過し、設備の経年劣化が進行していることから、必要な修繕費用を計上することが必要である。
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	多様化する住民ニーズに、限られた予算の中で、施設の設置目的に沿うサービスを効率的・効果的に行うためには、事業に必要な知識・技術・専門性及び様々なネットワークを有する事業者による運営が望ましく、指定管理者制度を引き続き活用することが妥当であると考えます。

4. 今後の事業運営方針について

当該施設は、指定管理者制度を導入する以前より、業務を民間へ委託してきた経緯がある。平成18年度より指定管理者制度が導入されてからは、障害者の自立更生に向けた援助、福祉に係る地域活動の促進が図られ、地域福祉活動を進めるためのボランティアの育成と援助、障害者の社会参加が進められたほか、利用者のニーズに応えた運営を行うことにより、より市民サービスの向上に繋がる運営ができた。

今後についても、各種講座や交流事業を実施することによる身近な文化活動の場として更に運営を充実させていくとともに、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現に向けて、ボランティアの育成や団体活動への支援など、地域の福祉ニーズに応えるための手段、地域の福祉に関心のある人に魅力的な情報を発信できるための手段を広く検討し、会館の利用率向上につなげていくことが望ましい。作業室においては今後も見学や実習の受け入れを積極的に行い、関係機関とも密に連携することで、新規利用者を継続的に確保していくことが望ましい。

ふじみ園については、権利擁護のマニュアル等を策定し、職員への研修を実施するなど、虐待防止のための体制を強化している。引き続き、マニュアルの見直しや職員への研修を実施して、支援スキルの向上に努めることが望ましい。

指定管理者の創意工夫・努力により、更なるサービスの向上が期待されるため、引き続き指定管理者による管理運営を行うことが適当であると考えられる。